

平成 26 年度予算について

平成 26 年 3 月 20 日（木）開催の第 119 回評議員会及び第 224 回理事会において、学校法人金沢医科大学の平成 26 年度収支予算案が承認されました。

平成 26 年度は、診療報酬・薬価の引き下げ改定及び消費税率の引き上げなどにより、収入の減及び支出の増による大幅な収支悪化が懸念されます。また、医学部の定員増による競争環境の激化、国の病院急性期病床の削減政策など経営を取り巻く環境は一層厳しくなっております。

このような経営環境の中、本年秋には医学教育棟建設工事が竣工し、その後、病院本館の機能移転と解体を行います。

教育部門では、受験生の確保や医師国家試験の合格者数及び合格率の向上につながる教育環境を整備し、また、今秋竣工する医学教育棟の教育用機器備品や無線 LAN の整備など移転事業に係る予算を計上しました。さらに、研究部門では、大学院の充実と特色ある独創的な研究を推進するための予算を盛り込みました。

病院部門では、医師及び看護師の定着を目的とした施策を継続し、新たに薬剤師の確保を目指した事業を展開します。患者サービスの向上を目的とする事業、地域連携強化事業、患者確保対策事業、医療の高度化を目的とする事業などの予算を盛り込み、医学教育棟への機能移転事業や機器備品整備及び電子カルテシステム更新整備等の政策予算を計上しました。また、金沢医科大学氷見市民病院についても、収益向上のための必要な予算措置を講じました。

1. 消費収支予算の概要（表 1）

(1) 収入面では、学生生徒等納付金に平成 25 年度予算に比べ（以下、前年比という）1 億 3 千 2 百万円増の 50 億 7 千 5 百万円を計上しました。

寄付金は、特別寄付金、教育振興資金寄付金、学術振興基金寄付金ほかで 5 億 6 千万円を計上、補助金は 14 億円を計上しました。

医療収入は、前年比 5 億 3 千 3 百万円増となる 198 億円を計上しました。入院収入は、延入院患者数は横ばいながらも手術件数の増加による入院単価増を見込み、稼動病床数を 788 床、病床利用率を 83.5%、診療単価を 61,800 円と算定して、148 億 4 千万円を計上しました。また、外来収入では、化学療法の注射料や画像検査の増加で単価の上昇を見込み、診療単価 15,000 円、一日平均患者数を 1,137 人として 49 億 6 千万円を計上しました。

以上による、帰属収入の合計は、前年比 1 億 4 千 7 百万円減の 276 億 1 千 5 百万円を計上しました。

(2) 支出面では、人件費総額で前年比 1 億 1 千 5 百万円の増となる 131 億 1 千 5 百万円を計上しました。事務職員、技術職員、臨時職員及び医員などを増員し、帰属収入に対する人件費比率は、47.5%となる見込みです。

教育研究経費には、医学部及び看護学部の国家試験対策及び教育内容の充実を図り、また、科学研究費等の外部資金獲得を目的とした研究助成事業、産学官連携事業及び特別研究推進事業など研究活動の一層の推進を図るため、16 億 9 千 6 百万円を計上しました。

医療経費には、総額 93 億 6 千 4 百万円を計上しました。薬品費等医療直接材料費の医療収入に対する割合を 34.4%で計上し、医療収益の向上を図るものとしています。また、その他の

医療経費には、経常的経費のほか医学教育棟移転事業、臨床研修事業、地域がん診療拠点機能強化事業、看護師・薬剤師・医療技術職員確保対策事業などの費用を盛り込みました。医療経費の医療収入に占める割合は47.3%となる見込みです。

以上による消費支出の部合計は、前年比3億4千4百万円増の275億5千万円となる見込みです。

- (3) この結果、帰属収入の合計276億1千5百万円から、消費支出の部合計275億5千万円を差引いた平成26年度の帰属収支差額は、6千5百万円の収入超過となる見込みです。

2. 資金収支予算の概要（表2）

- (1) 収入面では、事業の円滑な遂行を図るため、金融機関からの短期借入金15億円、学校債収入として3億円を計上しました。
- (2) 支出面では、借入金等返済支出に、短期借入金返済分15億円と学校債の償還分4億円を合わせて19億円を計上しました。

施設関係支出には、医学教育棟建設工事費、病院本館解体工事費、立体駐車場建設工事費、中央監視装置リモートステーション更新費、病院施設改修費ほかで、合計34億1千2百万円を計上しました。

また、設備関係支出には、教育実習用機器整備、共同利用研究機器整備、医学図書整備、電子カルテ・オーダリングシステム更新費及び医療機器更新などで、合計15億3千8百万円を計上しました。

- (3) 以上の資金収支計算の結果、平成26年度末の次年度繰越支払資金は、51億3千7百万円となる見込みです。

3. 金沢医科大学氷見市民病院運営事業予算の概要（表3）

- (1) 前年度に教育研修棟が完成して医師の受け入れ態勢が整い、26年度は医師の増員、臨床研修医の確保、看護師及び薬剤師等医療スタッフの確保を目指します。また、回復期リハビリテーション病床の拡大、外来診察室の効率的な活用と外来拡張計画の策定、人間ドック受診者の増加策、地域連携バスの拡大など診療体制の整備を図って、収益の増加を見込みます。

また、臨床研修プログラムの充実や金沢医科大学医学部生の臨床実習の受け入れなど教育研修病院としての機能を整備し、専門・認定看護師の養成や人事考課制度の導入などスタッフの質の向上を図ります。

- (2) 収入面では、医業収益及び医業外収益で58億6千5百万円を計上しました。入院収益は、一日平均患者数を206人、診療単価を48,000円として算定し、36億9百万円を計上しました。また、外来収益は、診療単価を12,120円、一日平均患者数を530人と見込み、18億6千9百万円を計上しました。医業外収益は氷見市からの交付金ほかで3億6千5百万円を計上しました。
- (3) 支出面では、医業費用で58億4千1百万円を計上しました。給与費は、常勤医師を45名体制とし、7対1看護体制の維持を図って30億5千5百万円を計上しました。材料費は薬品費や医療材料費、給食材料費等で16億3千2百万円を計上し、その他の経費として、光熱水費1億4千5百万円、管理経費1億2千9百万円を含む9億6千5百万円を計上しました。
- (4) 以上による平成26年度末の経常利益は、2千4百万円となる見込みです。

（財務部長）

消費収支予算書
(自)平成26年4月 1日
(至)平成27年3月31日

(表1) (単位:百万円)

収入の部			支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	5,075	132	人件費	13,115	115
手数料	190	9	教育研究経費	1,696	66
寄付金	560	▼ 100	医療経費	9,364	157
補助金	1,400	▼ 233	管理経費	615	1
資産運用収入	270	▼ 30	減価償却額等	2,700	0
特定資産償還差額	0	▼ 458	借入金等利息	10	5
事業収入	260	0	予備費	50	0
医療収入	19,800	533			
雑収入	60	0			
帰属収入の合計	27,615	▼ 147	消費支出の部合計	27,550	344
			(帰属収支差額)	(65)	(▼ 491)
基本金組入額	2,000	0			
消費収入の部合計	25,615	▼ 147	消費収支差額	▼ 1,935	▼ 491

(注) は計算書式上のマイナス値、▼はマイナスを示します。
前年比は平成25年度予算との比較です。

資金収支予算書
(自)平成26年4月 1日
(至)平成27年3月31日

(表2) (単位:百万円)

収入の部			支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金収入	5,075	132	人件費支出	13,115	115
手数料収入	190	9	教育研究経費支出	1,696	66
寄付金収入	550	▼ 100	医療経費支出	9,364	157
補助金収入	1,400	▼ 233	管理経費支出	615	1
資産運用収入	270	▼ 30	借入金等利息支出	10	5
事業収入	260	0	借入金等返済支出	1,900	400
医療収入	19,800	533	施設関係支出	3,412	1,402
雑収入	60	0	設備関係支出	1,538	268
借入金等収入	1,800	400	資産運用支出	0	▼ 1,600
前受金収入	2,603	60	その他の支出	3,256	▼ 149
その他の収入	6,286	885	予備費	50	0
資金収入調整勘定	5,942	107	資金支出調整勘定	2,700	29
前年度繰越支払資金	5,041	▼ 973	次年度繰越支払資金	5,137	96
資金収入の部合計	37,393	790	資金支出の部合計	37,393	790

(注) は計算書式上のマイナス値、▼はマイナスを示します。
前年比は平成25年度予算との比較です。

金沢医科大学氷見市民病院運営事業予算
(自)平成26年4月 1日
(至)平成27年3月31日

(表3) (単位:百万円)

収入の部	
科目	金額
医業収益	5,500
(入院収益)	3,609
(外来収益)	1,869
(受託事業収益)	8
(施設設備利用収益)	14
医業外収益	365
収入の部合計	5,865

(単位:百万円)

支出の部	
科目	金額
医業費用	5,841
(材料費)	1,632
(給与費)	3,055
(その他の経費)	965
(指定管理者負担金)	189
医業外費用	0
支出の部合計	5,841
経常利益	24